

# 衆議院国土交通委員会ニュース

平成 30.11.21 第 197 回国会第 3 号

11 月 21 日（水）第 3 回の委員会が開かれました。

- 1 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律案（内閣提出第 5 号）
  - ・宮腰国務大臣、石井国土交通大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新）
  - ・伊藤忠彦君外 6 名（自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新）から提出された附帯決議案について、津村啓介君（国民）から趣旨説明を聴取しました。
  - ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。  
（賛成 - 自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新）

（質疑者及び主な質疑内容）

## 秋本真利君（自民）

- ・海洋再生可能エネルギー発電整備促進区域の指定に関する KPI（2030 年度における促進区域を 5 区域）は上限ではないことの確認及び促進区域の指定に当たっては地元の要望も着手要件の一つと考えてよいかについて伺いたい。
- ・法律の施行に伴い発電事業者が公募により選定されることになるが、先行事業者には事業リスクを負って先行投資を行っている者もあり、これらの事業者に対する一定の配慮が必要と考えるが、見解を伺いたい。

## 伊藤涉君（公明）

- ・土木学会が本年 6 月に『「国難」をもたらす巨大災害対策についての技術検討報告書』を公表し、公共インフラに防災のための先行投資を行うことによって経済被害の縮小を図ることができることを指摘している。国土強靱化の観点で当該報告書についての大臣の所見を伺いたい。
- ・再生可能エネルギーは安定して発電できないため、ベースロード電源となりづらいが、その課題解決のための系統用蓄電池の技術開発は重要と考える。その技術開発の現状及び国際的競争をリードしていくという我が国の方針について伺いたい。

## 山崎誠君（立憲）

- ・政府は、エネルギーミックスにおける 2030 年度の再生可能エネルギーの導入比率 22～24% を目指しているが、目標実現に当たっての現状及び課題について伺いたい。
- ・促進区域の指定段階から環境影響評価によるゾーニングを制度に落とし込む必要性及び建設段階においても環境

アセスメントを行う必要性、並びに基本方針に定める海洋環境の保全に関する事項に自然環境あるいは生物多様性の保全の観点は含まれているとの認識で良いか、見解を伺いたい。

- ・促進区域の指定等のために設置される協議会は、区域指定の透明・公正なプロセスの明確化や、地域の参加による地域の事業として組み立てるといった機能を有していないのか、宮腰大臣の見解を伺いたい。

## 小宮山泰子君（国民）

- ・洋上風力発電の普及に当たっては、先進的技術を持つ海外メーカーの発電設備を導入することも多いと思われるが、我が国特有の課題として地震や台風等への対策が不可欠となり、そのような自然災害に対する海外メーカーの発電設備の安全性確保に向けた方策を伺いたい。
- ・公募占用指針には原状復帰に関する事項を定めることとされているがどの程度の復旧を求めているのか、また、占用期間が 30 年と長期に渡り、事業者によっては経営破たんや資金不足で施設の撤去ができなくなる場合も想定される。最終的な撤去までを担保した仕組み作りが必要と考えるが、見解を伺いたい。

## 伊藤俊輔君（国民）

- ・10 月末に日本航空の副操縦士が酒気帯び状態でロンドン発羽田行き便に乗務しようとして英国警察に逮捕された事件があったが、パイロットの飲酒について問題の発生に係る国土交通省に対するこれまでの報告の有無及び再発防止に向けた大臣の見解について伺いたい。
- ・福島沖の洋上風力発電設備については、トラブル続発による稼働率の低迷により採算が見込めず撤去するとの報

道もあったが、その原因及び現状とこれまでの実証実験で十分な知見が得られたのかについて伺いたい。

### もとむら賢太郎君（無会）

- ・資源エネルギー庁はエネルギーミックスにおいて風力発電の導入見通しを2030年1,000万kwとし、そのうち洋上風力については82万kwとしているが、法案成立後もこのような低い目標のままにするのか。
- ・洋上風力発電を拡大するため、電力系統制約の問題をクリアし送電線への接続をスムーズに行うための対策について伺いたい。また、送電網の整備に当たって海底ケーブルを引くことや稼働していない原発の系統を開放するといった方法について、見解を伺いたい。

### 宮本岳志君（共産）

- ・協議会の設置が任意規定となっているが、促進区域の指

定に当たり漁業権との調整は丁寧に行われるのか。また、協議会が設置されないことはあるのか。

- ・洋上風力発電の環境への影響を鑑み、事前の環境アセスメントのみならず事後評価も必要と考えるが、見解を伺いたい。
- ・洋上風力発電の普及により再生可能エネルギーの発電比率が増えることで、原子力発電の比率が減少し、将来的にはゼロになると考えるか。

### 井上英孝君（維新）

- ・洋上風力発電について、浮体式と着床式との建設コストの違いを具体的に伺いたい。また、浮体式洋上風力発電の取組に向けた経済産業省の意気込みを伺いたい。
- ・洋上風力発電の促進は既存の電力供給ツールを大幅に変えることができる機会とも考えられ、省庁間で横断的に取り組む必要があるが、宮腰大臣の決意を伺いたい。